

いちのせきから ストップ温暖化

eco

第26号

発行

一関地球温暖化対策地域協議会(IEL)

平成31年2月15日

残された時間は少ない

「この美しい地球が悲鳴を上げている。私達が今できること、今やらなければならないことは何なのか、残された時間はあまりないのかもしれない。この美しい地球を子どもたちに残したい…」これが、この広報ecoの創刊号(2008年6月)のメッセージです。

それから10年が経ちました。

頻発する気象災害

昨年を振り返ると異常気象による大規模な災害などが頻発した年でした。7月上旬の「平成30年7月豪雨」、夏の熱波、9月の台風21号、24号……、12月4日には国内926の観測地点の4割弱で12月としての日最高気温を更新しました。

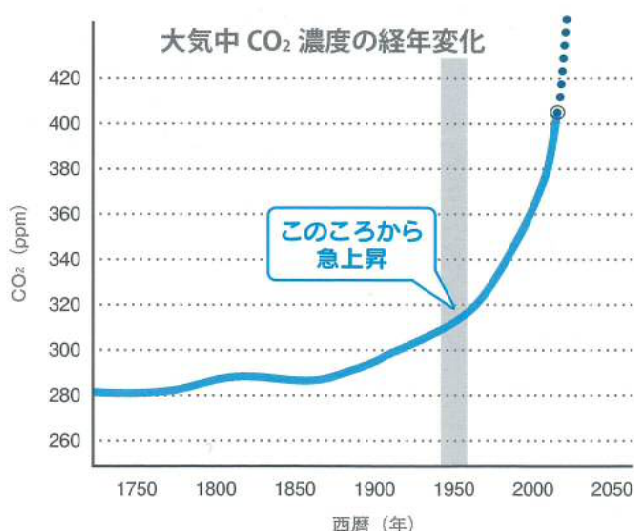
そして、耐えられない酷暑を受けて一関市でも全小中学校へのエアコン設置が予定されています。

これらのことは地球温暖化によるものと考えられ、今後、悪化することがあってももはや安定した気候は望めないと誰もが感じています。

「平成30年7月豪雨」により最大約5mまで水没した岡山県倉敷市真備町一帯(写真は国土地理院)

急増するCO₂濃度

温室効果ガスであるCO₂は図に示すとおり、およそ250年前までは大気中濃度が280ppmであったのが、現在は405ppmとなっています。第2次世界大戦後からその濃度が急に増加し始め、近年は毎年約2ppmずつ上昇し、それがいつ止まるか全く予測がつきません。多くの国々で地球温暖化防止に取り組んでいても一向に効果が上がっていません。これまでの取り組みでは不十分だったのです。



これからの取り組みは

当協議会が実施したアンケート調査によれば「電気をこまめに消す」はほとんどすべての方が、「LEDランプに交換する」は半数の方が取り組んでいます。こうしたことを続けるとともに、残された時間があうちに、一層効果のあることにも踏み出しましょう。

- ・住宅はしっかり断熱・気密化して、エネルギー消費を最小化しましょう。
- ・暖房や給湯にはできるだけ木質バイオマスや太陽熱温水器を使用しましょう。
- ・太陽光発電を導入し、使用する以上に発電しましょう。
…そうすれば正味ゼロエネルギー住宅(ZEH)になります…
- ・移動には電気自動車(EV)やプラグインハイブリッドカー(PHV)を使用しましょう。
…充電は太陽光発電を電源としましょう…



再生可能エネルギーを主力電源に

これまでの石炭火力発電ではCO₂の排出が増加し、温暖化の進行は止まりません。これから脱皮して再生可能エネルギーを主力電源とする政策的な転換が今こそ必要です。私達も社会全体として取り組んで行きましょう。



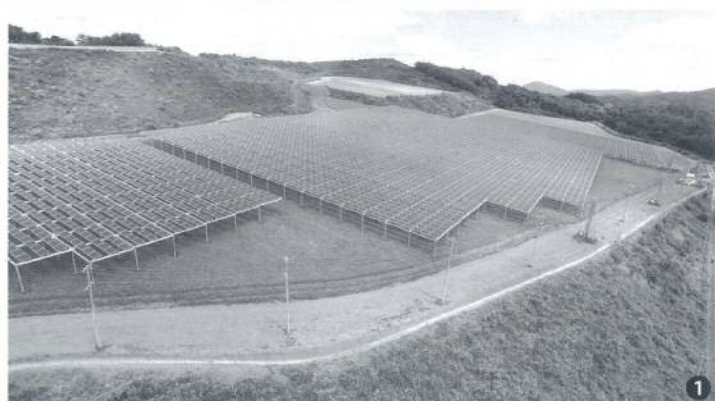
IEL主催 自然エネルギー等見学会報告

昨年11月19日、当協議会主催で自然エネルギー等見学会を開催しました。

当日は会員など25名の参加をいただき、市内及び平泉町内の施設4カ所を見学してきました。

1. 吉高太陽光発電所（営農型発電所＝ソーラーシェアリング）

① 藤沢町吉高地内の広大な休耕地約6ヘクタールを利用して作られました。起伏の多い山地を造成するより、平坦な休耕地のほうが、建設コストが下げられるそうです。太陽光パネル9,460枚を設置し、太陽電池出力2.6メガワットの発電を行っています。パネルの下で大型農機を使用して農業ができる画期的な施設です。太陽光を発電と農業でシェアします。



② 農業用トラクターを稼働させるために、発電パネルを乗せる柱を高くしています。見学会時には、すでに大麦がまかれていました。来年の収穫が楽しみです。（写真は大麦播種前の耕起時）

①②写真提供：リニューアブル・ジャパン(株)岩手事務所

2. 千厩小学校（いわて型木質チップボイラーエコモス）

① 千厩町内すべての小学校の統合により、昨年4月に新設された小学校。見学会の日は、ちょうど木質チップボイラー初点火の日でした。説明によると、補助ボイラーと併用してタイマーで6時ごろから点火、児童が登校する8時ごろには、暖かくなっているとのことでした。操作盤は職員室の中にありました。

② ちょうど燃料用木質チップを積んだトラックが来ました。コンクリート製の投入口に荷台から一気に落としていました。チップの原材料は、間伐材などを活用したきれいな木材で、建築廃材、集成材、合板などは使用しません。



3. 大東清掃センター（焼却施設）

- ① 大東町・千厩町・東山町・室根町・川崎町・藤沢町のごみが処理されています。きれいに清掃されていて、ごみ一つ無い処理施設でした。
- ② ごみピットにためられた燃やすごみは、混ぜ合わせた後ごみクレーンでつかみ、高いところから何度も落とし、ほぐして燃えやすくしていました。



- ③ 書籍のビニールは、手作業で剥がしていました。

4. 平泉ドライビングスクール（高断熱・高気密の業務用建築）

- ① 古都平泉にマッチした黒い屋根の和風建築。屋根にも窓にも壁にも特別の仕掛けがあり、断熱・気密・遮熱がなされています。



- ② 屋根には高性能グラスウールが47cm、壁にも22cmの断熱材が施され、窓はドイツ製のトリプルガラス樹脂サッシ、外付けのブラインドです。もちろん全部LED照明です。余分にかかった建築費用は20年かけて回収する、とのことでした。

〈参加者の声〉

太陽光発電と農業を一緒に行うという画期的な事業に、まず驚きました。耕作放棄地が増えている昨今の状況に、明るい展望が開けてくるようです。千厩小学校のチップボイラーで暖をとる子どもたちは幸せです。山の間伐材がどんどん利用されていくことを願います。ダイオキシンなど有害物質を除去しながらごみを焼却するハイテクの焼却炉、省エネ建築物として三ツ星の評価を得ている平泉ドライビングスクールなど、多くの人々の知恵と努力で環境にやさしい生活ができるのだと思いました。



これからの行事 (IEL主催)

問合せ／一関地球温暖化対策地域協議会事務局
(一関市市民環境部生活環境課)
☎0191-21-8344

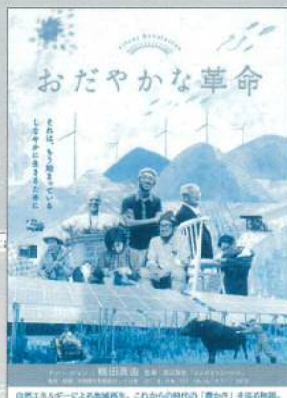
eco

いちのせきから
ストンプ温暖化 第26号

平成31年2月15日発行
発行責任者／一関地球温暖化対策地域協議会

ドキュメンタリー映画

「おだやかな革命」上映会開催



開催日時

3月10日(日)
午前10時～(100分)

開催場所

一関シネプラザ
磐井町2-13 一高前通り
☎23-2902
一般 前売1000円/当日1300円
学生 前売 800円/当日1000円
(一関シネプラザなどで販売)

過疎化や高齢化など多くの課題を抱えた地域で、これからの暮らしを自分たちの手で作りなおし、本当の豊かさを取り戻していく人々の姿を描いたドキュメンタリー。

それぞれの「暮らしの選択」の先にある生きがいや喜びに満ちた暮らしを通して、現代社会が見失った「豊かさ」とは何かを問いかける。ナレーションを女優の鶴田真由が担当。

秋田：にかほ市に設置された風力発電を起点にしたコミュニティづくり

福島：震災後に誕生した「会津電力」、「飯館電力」

岐阜：郡上市に移住した若い家族が取り組む小水力発電

岡山：西粟倉村で間伐材が温泉施設の燃料に、そして手作り家具に

海が悲鳴を上げている!

プラスチック問題に関する 市民学習会開催

入場
無料

安く、便利さから大量に使われているプラスチックが海を脅かし、最近、世界でも国内でも海洋プラスチックごみ問題が新たな地球環境問題として大きく取り上げられています。欧州をはじめ、世界的にその対策に向けた大きなうねりも起きています。

当協議会でもこれからは地球環境問題として、また、燃やせばCO₂を発生する地球温暖化の原因物質としてのプラスチックについて学習し、不可逆的に進むマイクロプラスチックによる汚染軽減に取り組もうと考えています。

講師は一関高専の柴田勝久教授の他、当協議会の役員3名が担当します。市民の皆さんからたくさんの質問や意見を出していただき、ともに話し合い理解を深めたいと考えています。



開催日時 3月23日(土)午後1時30分～午後4時

開催場所 一関市民センター大会議室(大町4-29:なのはなプラザ3階)

学習テーマ

- マイクロプラスチック汚染の現状、国際動向
- 海洋プラスチックごみの発生と移動
- 日本の海洋ごみ対策の現状と今後の課題
- 使い捨てプラスチック政策の国際動向
- 河畔におけるごみのポイ捨て対策
- 河川から考える海洋プラスチックごみ対策

など

※参加希望の方は事務局までご連絡ください。

住宅用 太陽光発電の

2019年問題



写真提供：スマート環境デザイン㈱

太陽光発電の普及を目指した政府は2009年11月、住宅用太陽光発電の余剰電力の買取りを電力会社に義務付けました。その時の買取価格は48円/kWhで、その時点で設置済あるいはその直後に設置した家庭では、10年後の今年11月から順次買取り満了を迎えることになります。今後どうなるか心配になりますが、昨年11月29日に東北電力は10年を超えても買取りを継続する方針を示しました。1kWh当たり何円になるかは6月に示すとしています。

ただ、売電価格は大幅に低下する見通しで、売るよりも自家消費するほうが得になります。家庭用の蓄電池を設置して余剰電力を蓄えて利用することも一つの方法ですが、やたらと不安を煽り蓄電池の購入を高額で勧める勧誘には注意しましょう。

また、自らが発電した電気の売り先も、使用する電気の買い先も自由に選べる時代ですので、こだわりある特色を持つ小売電気事業者との売り買いも選択肢の一つです。結論としては、6月の東北電力の発表を待ってからでも遅くはありません。

※資源エネルギー庁のHP内「どうする?ソーラー」サイトも参考になります。

編集後記

地球温暖化が原因と思われる気温の上昇や集中豪雨などの異常気象が頻繁に起こるようになりました。「地球温暖化」は私たちの身近な問題になってきています。広報eco編集委員会では、この広報をより多くの皆さんに読んでいただくように紙面づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

(伊藤 香織)

問合せ／一関地球温暖化対策地域協議会事務局(一関市市民環境部生活環境課)
住所:〒021-8501 一関市竹山町7-2 電話:0191-21-8344 FAX:0191-21-2101
e-mail:eco@city.ichinosaki.iwate.jp
ホームページ:https://www.city.ichinosaki.iwate.jp/index.cfm?O=121.html
印刷/編集:手日新聞社
環境にやさしい紙とインクを使用しています。